

西郷 広報

No.428

—毎月1日・発行—

8月 1日

平成18年(2006)

- 『西郷村第三次総合振興計画』策定……2～3
- ごみを片付け環境の美化をはかりました……4～5

Main Contents



阿武隈川をひとまたぎ

川谷小学校と荒浜小学校(宮城県)との沢登り交流会

『西郷村第三次総合振興計画』を策定 共生と協働でつくる「さわやか高原公園都市」にしごう



村では、「二十一世紀を展望し「さわやか高原公園都市にしごう」をより確かなものとするため今後十年間における新たな村づくりの指針として、平成二十八年を目標とした西郷村第三次総合振興計画を策定し六月第二回定例議会で議決されました。

この振興計画は、長期的・総合的な村政運営の基本方向を明らかにして、今後の村づくりを進めるための指針となります。

第三次総合振興 計画の主旨

本村は、平成九年に「西郷村第二次総合振興計画」を策定し、『人と水と緑の調和をめざして』もつと「さわやか高原公園都市」構想の基本的構想に基づき産業振興と村民福祉の向上などを目指した総合施策を推進してきました。

この間、地球規模での環境問題や少子高齢化が進み、地方自治体においては行革、地方分権、市町村合併など、役割と位置付けが、大きく変化しています

第三次総合振興 計画の構成

このような社会情勢の変化や住民ニーズに的確に対応するため、新たな行政課題を見据えた長期的な施策の指針が必要であり、現在の西郷村第二次振興計画を継承した西郷村第三次振興計画を策定しました。

村では、第三次振興計画を平成十六年度より村民の意向調査を実施の上、各層へのヒアリング、村民による村づくり委員会からの提言など、さまざまな角度から検討を進め、更に西郷村総合開発審議会での慎重な審議を重ねるなど、計画づくりを進めてきました。計画の概要についてお知らせいたします。

本計画は、「基本構想」、「基本計画」で構成され、平成十九年度を初年度とし、平成二十八年を目標年度としています。

基本構想は、三つの基本理



- ### 基本理念
- 一人々の豊かな個性を育む
うるおいとやすらぎのあるむらづくり
 - 自然と調和した活力ある
産業のむらづくり
 - 村民と行政の協働のむら
づくり

念と五つの施策の大綱を村づくりの柱としており、基本計画は、基本構想に基づき各分野で実施していく施策を体系的に定め、その内容を具体的に示したもので今後皆様にお知らせしてまいります

なお、実施計画は、本年度から五カ年を計画期間として計画の実現を図るため毎年策定してまいります。

西郷村の将来像実現のための

五つの施策大綱

大綱1

自然と調和した快適な むらづくり

(生活基盤づくり)

西郷村の魅力は、東北の玄関口として首都圏への高い交通利便性を有しながら、日光国立公園に抱かれた「源流の郷」としての素晴らしい自然環境に恵まれ、阿武隈川を中心とした水環境が村民ばかりでなく訪れた人々にうるおいと安らぎを与えてくれる自然と都市機能の融合した環境条件にあります。

また、那須連山ふもとの高原地帯と平坦部に広がる田園風景は、住環境の魅力を高め、個性あるむらづくりを推進していくうえで重要な資源です。

今後、みどりや水環境の保全と創造に積極的に取り組むとともに、阿武隈川源流の郷として、河川の水質保全のため、下水道整備などを通して、環境に配慮した循環型社会の形成をめざし、個性的で美しく、自然と共生するむらづくりを進めます。

さらに、高速交通網の整備に伴い、ますます高まる交通利便性を十分に生かしなが

大綱2

希望を持ち安心して 暮らせるむらづくり

(健康環境づくり)

少子・高齢化社会の到来と核家族化の急激な進展により、村民同士の連帯感やお互いに支えあう地域コミュニティの相互扶助機能が低下してきています。

こうした中、多様化する村民ニーズに因應する地域社会に根ざしたきめ細かい保健福祉サービスの実現と、それを支える活動展開に向けた環境の整備が急務となっています。

村民が健康で安心して暮らしていくをもつて暮らせるむらづくりを進めるとともに、保健衛生、地域福祉、医療など、村民の健康を守るサービスの充実を図り、希望を持ち、安心して暮らすことのできる明るい地域社会を形成します。

また、地域社会の中で、村民誰もが生き生きと安心して自立した生活を送ることがで

大綱3

自立と調和の人づくり

(人づくり)

ライフスタイルや価値観の変化、国際化や情報化の進展、少子高齢化社会の到来など、村民を取り巻く社会環境は目まぐるしく変動していることから、本村の豊かな自然に囲まれた生活環境を十分に生かし、心身ともに健やかに育つ教育環境づくりを進めます。

また、次世代を担う自立と自律を意識できる人材育成のため生涯学習社会構築の理念の下に、学校教育と生涯教育の機能を連携融合させるしくみづくりを進め、各分野において広い視野に立ち、豊かな発想のできるリーダーの育成を推進します。

さらに、地域や家庭におけるふれあいを通して、郷土を愛する豊かな人間性と助け合いや思いやりの心を育み、積極的に社会参加できる「人づくり」を進めます。

大綱4

豊かさを実感できる 活力あるむらづくり

(産業づくり)

経済や産業構造が大きく変化する中、村内外における各産業間のネットワーク強化を図り、村の基幹産業の一つである農業の魅力ある発展を促しながら環境保全型農業(エコファーマー)への転換と確立をめざします。さらには、産業間の調和と連携を進めながら、循環型社会を形成します。

また、多様な産業の育成により、「さわやか高原公園都市にしごう」の魅力を高め、個性あるむらづくり



大綱5

ふれあいのある 協働のむらづくり

(まちづくり)

モータリゼーションの進展は本村に生活及び経済圏の拡大をもたらし、従来の行政区域を越えた活動を可能にしました。

今後は交流人口の増大を図り、村民の活発な活動を促すため、本村が持つ魅力ある各種の情報効果を効果的かつ広域的に発信し、地域の活性化につなげていくこととします。

近年においては、生活者の個性が尊重され、生活全般における価値観の多様化などにより村民のニーズも変化し続けていることから、このような自らの生活を取り巻く様々な環境の変化に対応するため、村民自らが自治体のあり方を考え、政策形成の場に参加できる条件の整備を進めるとともに、行政とのパートナーシップを構築し、ふれあいのある協働のむらづくりをめざします。

ごみを片付け環境美化をはかりました

村内のあちこちに捨てられた
たくさんのごみが、参加された
皆さんのご協力で一掃され、美
しい環境になりました。



第三十一回村内総ぐるみ 一斉清掃実施

村内総ぐるみ一斉清掃が七月二日(日)に、村民約四千五百人が参加して行われました。早朝から道路や河川の草刈り、側溝の土砂上げ、投げ捨てられた空き缶や空きびん、不法投棄された家電製品等の回収撤去に汗を流しました。各行政区から出されたごみは、ボランティア袋等で空き缶、空きびん約五〇七袋、土砂九五二袋、可燃ごみ三三〇袋にもなり、その他に家電製品や自転車、タイヤやタイヤ



▲環境美化のため草刈り作業

ホイール等の粗大ごみが多数回収されました。皆さんのご協力により村内に不法投棄されたごみは年々減っていますが、リサイクル料金のかかる冷蔵庫やテレビなどの家電製品が投棄されるケースが増えています。自分で使ったものは、最後まで自分の責任で処理し、普段の生活のなかでごみが少しでも減るよう、出さないよう一人ひとり注意することが、美しい環境を守ることにつながります。

親子でリサイクルプラザ 施設見学会

西白河地方衛生処理一部事務組合では、平成十六年から稼働しているリサイクルプラザで、希望者にリサイクルプラザ施設見学会を実施しています。

ごみがどのような処理過程で資源にかわるのか、ごみの減量化・リサイクルの必要性を感じることが出来ます。

七月三日(月)は、村立みずほ保育園の園児とその保護者約四十名が見学を行っていました。園児たちは、施設の機械



▲リサイクルプラザの運転室の見学

の大きさに驚いたり、保護者の皆さんも普段自分が出すごみの処理過程を見学し、施設の方の説明を熱心に聞いていました。

ごみを減らすためには、物を作り、消費する過程でごみを減らす工夫をすることが大切です。

ごみを減らす方法の一つとして、リサイクルがあります。普段何気なく捨てている空き缶や空きびん、ペットボトルは、資源として再利用が出来ます。

親子でごみとリサイクルについて考える

現在西白河郡では、缶金属類、紙類、プラスチック類、ペットボトルなどを分別収集しています。「捨てればごみ、分ければ資源」の言葉どおり、一人ひとりがきちんと分別し、ごみとして出す量を少なくすることが全体のごみの量を減らすことにつながります。



西白河郡内のごみの現状

西郷村のごみは、西白河郡一市一町三村が共同で運営する白河クリーンセンターで処理されています。十七年度に処理された村内のごみの量は、可燃ごみ・古紙類・不燃ごみ・資源ごみ合わせて五、三七〇トンとなっています。

す。処理されるごみの量が年々増えていることが分かります。このごみの処理費用はどのくらいかかっているのでしょうか。西白河地方衛生処理一部事務組合等の運営費用は、個人で購入したごみの袋の収入と一市一町三村で負担しています。十七年度西郷村が負担した金額は、一八三、七二八、〇〇〇円(し尿処理にかかる費用を含む)となります。運営には、さまざまな経費がかかりますが、全体的にごみの量が増えているため、その処理にかかる経費も増えてきています。つまり、家庭から出されるごみの量が少なくなれば、個人の負担も村の負担も少なくなるのです。

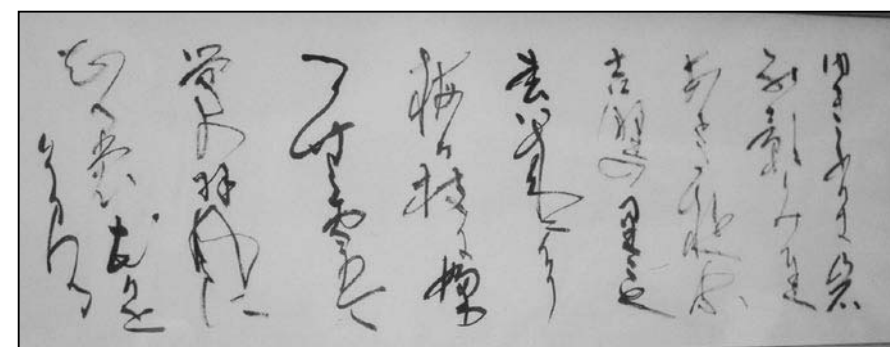


▲リサイクルプラザ内のガラス工房

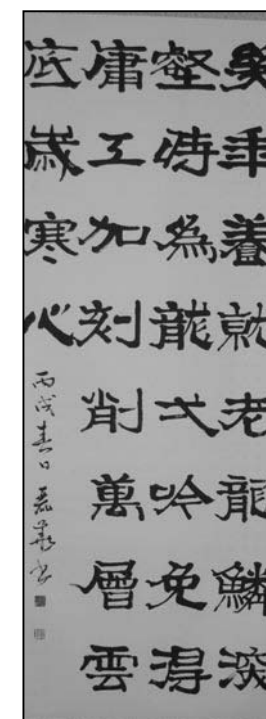
第十三回西郷村総合美術展

書部門

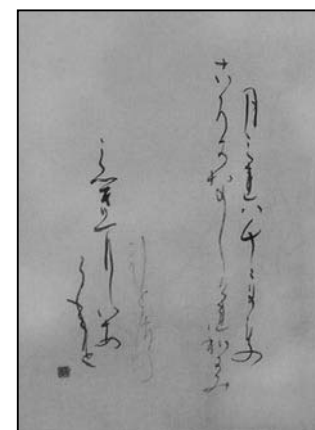
六月二十三日から二十五日までの三日間、西郷村文化センターにおいて、総合美術展が開催され、絵画、書、写真、工芸の部門にあわせて一九二点が出品されました。会場を訪れた人々は、どれもみな素晴らしい作品に見入っていました。



【村長賞】雪深き岩の 小松友子（折口原）



【教育長賞】頼山陽の詩 鈴木玲子（白河市）



【教育長賞】月みれば
高田澄子（後原）



【福島民報社賞】
我逢人
小川幸江（折口原）

写真部門



【議長賞】老夫婦
松田文吉（杉山前）



【教育長賞】朝霧
多治比 功（米）

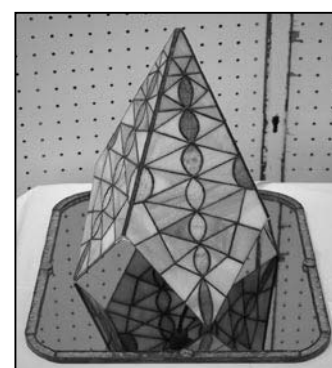


【福島民報社賞】
のり簀の夜明け
熱田堯乙（大平）

工芸部門



【村長賞】長崎眼鏡橋
内山満義（大平）



【福島民友新聞社賞】
コスモスター
鈴木二三男（上野原）



【教育長賞】しゃぼん玉
中山フチ（中島）

絵画部門



【議長賞】秋
古澤タマ子（小萱）



【教育長賞】屋下がり
佐藤敏巳（小田倉原）



【福島民友新聞社賞】静
門藤 一（原中）

羽太グリーンタウンでは、自分たちの住んでる地域を花いっぱいになろうとマリーゴールド、ペコニアなど 2,000 本の苗を沿道に植栽しました。この日は、子どもからお年寄りまで約 55 名が参加し、土を掘り起こし丁寧に苗を植えていました。家族で参加している姿を見て大変微笑ましく思いました。

地域のためにみんなで花を



6/11

独立行政法人家畜改良センターでは、未利用地に肉用牛を放牧し、耕地の利用促進を図っています。現在、小田倉山下地内の未利用地 45 a に電気牧柵を設置し、肉用牛を 10 月下旬まで放牧しています。これにより景観の悪化やゴミの不法投棄の防止、また畜産の飼料自給率の向上に役立てばと期待されています。

雑草の畑が牛放牧で綺麗に



6/28



6/21

百歳おばあちゃんおめでとう

西郷村上野原の「やまぶき荘」に入所している櫻井キヨさんが百歳を迎え、県南保健福祉事務所長より福島県知事賀寿と記念品が贈られました。また西郷村長から賀寿と祝金が、福祉協議会長より記念品が贈られました。これに対して、孫の田村さんよりお礼のことばがあり、式終了後、入所者とお祝いにかけつけた高校生により「ふるさと」を合唱し、櫻井さんを喜ばせました。



7/11

稚魚たち大きくなってね

上野原の「せせらぎ公園」で子どもたちによるイワナ・ヤマメの稚魚放流が行われました。これは、源流の里づくり推進事業の一環で、子どもたちに水環境の大切さを知ってもらうために実施しています。米小学校の一年生と、みずほ保育園、村立西郷幼稚園の園児 83 名が参加し、8 cm ほどに育ったイワナやヤマメの稚魚 2,000 匹を放流しました。やがて大きく成長することでしょう。

皆さんが安心して生活できるように火災、災害から村民の生命と財産を守るために西郷村消防団員の皆さんは、日頃から「連携」「団結」「助け合い」の精神で取り組んでおります。今回は、消防団活動の一部をご紹介します。



▲郡山市で開催された阿武隈川上流水防演習



▲阿武隈川源流にて夏山遭難救助訓練



▲熊倉小校庭にて西郷村消防操法競技大会



西郷村消防操法競技大会結果
ポンプ車の部 優勝
第 1 分団第 3 班（下羽太）
小型ポンプの部
優勝 第 5 分団第 5 班（下折口原）
準優勝 第 6 分団第 2 班（芝原）
三位 第 5 分団第 1 班（追原）

これからの西郷村消防団事業予定

- | | | | |
|------------------|-------------------|----------------|------------|
| ・ 8 月 27 日 | 第 35 回福島県消防操法競技大会 | 《平成 19 年》 | |
| ・ 8 月 27 日 | 太陽の国 総合防災訓練 | ・ 1 月 7 日 | 西郷村消防団出初め式 |
| ・ 10 月 15 日 | 西郷村消防団秋季検閲 | ・ 1 月 21 日 | 文化財防火デー訓練 |
| ・ 11 月 9 日～ 15 日 | 秋季全国火災予防運動 | ・ 3 月 1 日～ 7 日 | 春季全国火災予防運動 |



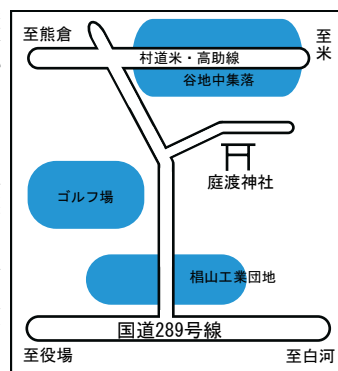
すべては、あなたを守るために活動しています



▲慶応元年（1865）年に寄進された石段の上にそびえ立つ庭渡神社

にしごうの神社

第22回 庭渡神社（谷地中）
にわたり



谷地中の集落から相山工業団地を抜け、国道二八九号線に至る道の途中、丘陵の東側の斜面に庭渡神社があります。文化二年（一八〇五）に編纂された『白河風土記』によると、「庭渡権現社」とあり、別当は第十三回で紹介した熊倉の熊野神社と同じく、常徳寺内にある大法院だいほういんとなっています。社号は文書によって相違があり、寛保二年（一七四二）の『白川郡米村組熊倉新田村明細帳』や天保四年（一八三三）の『熊倉新田高』には「庭足権現宮」とあり、天保四年の『田畑高并諸事相調書上』には「庭渡二輪足大権現」とあります。熊倉新田村がいつ成立したか不明ですが、元禄五年（一六九二）の『松平（結城）領分村高調』で熊倉新田村を初見でき、それ以前の寛文四年（一六六四）の『白河藩本多忠平宛領知判物写・目録写』には、村名が確認できないため、この間に成立したと思われます。庭渡神社の成立も不明ですが、元禄六年の『熊倉村新田帳』には「にわたり前」、「にわたり沢」、「わたり久保」という地名が書き記されていますので、十七世紀の終末には村が成立し、村の鎮守である庭渡神社も創建されたものと思われます。

「猫の飼い主のみなさんへ」

最近、猫についての困り事相談が増えています。猫は、他人の庭に糞をしたり、鳴き声などにより迷惑をかけてしまいます。また、自由な交配により、正しく飼われていない猫が増え、近隣が困ってしまいます。

生き物を飼うということはその命に対して責任を持つということです。最後まで面倒を見る覚悟とその環境を整えることが必要です。

ペットを飼える環境かどうか、食費や予防接種、診療費などの経済的負担、世話をしたりスキンシップをとる時間的余裕、家族の同意など良く考えて決めましょう。



▲トイレのしつけも大切です。

～これだけは守りたい～

1. 子猫の時から屋内飼育ができるように、トイレ等をしつける。
2. 名札等を着け飼い猫であることを明示する。
3. 不妊・去勢処置を行う。
4. 最後まで責任をもって飼う。

ふくらはぎの重要な役割

ふくらはぎは、主にヒ腹筋（ふくらはぎの丸い筋肉）とヒラメ筋（アキレス腱脇の筋肉）という筋肉から構成されています。

実は、この筋肉も弱ってくると、姿勢が悪くなり年齢に関係なく、老けた体型になります。

ヒ腹筋には、私達の身体を後方に引く張って前後のバランスを取る役割があり、私達がぐらつかないで立っているのも、ふくらはぎの筋肉の量に関係してきます。

また、ふくらはぎは第二の心臓とも言われています。下

西郷村シンボルスポーツ

健康ウォーキング



シリーズ⑩—

「ふくらはぎを

強化させる」

足は、毎日の生活の中で大きな圧力を受けています。足が身体他の部分よりも怪我の対象となる確立が高く、体の衰えは足からはじまります。ウォーキングでは、足を鍛えることが出来ませんが、家の中でも簡単に足を鍛える簡単な方法を紹介します。

毎日の運動の中に

毎日、簡単にふくらはぎを鍛える方法として普通に立つ状態から、できるだけかかとを上げて、つま先立ちする方法です。これを、上げ下げ繰り返し行います。筋力アップさせたい場合は、さらにできる限り多くこなすようにします。もし、ふらついてうまくできない場合は、壁に手を付いて上下させるようにしてください。集中的にふくらはぎを鍛える効果的な方法なので家庭や職場の休憩時間にぜひ試して、ふくらはぎを強化しきれいな姿勢を維持してください。



■お問い合わせ
生涯学習課・健康推進課



西郷村中央公民館図書室だより

村内小学校に
巡回図書を
配本しました

毎年、県立図書館より五百冊の図書を借り受け、村内小学校に百冊ずつ配本し一年で一巡させています。児童への貸し出しや自由に閲覧できるコーナーを設けるなど活用されています。

読んでみませんか

『バッテリー』Ⅰ～Ⅵ

あさのあつこ・作
教育画劇・刊

「傲慢で脆く、強靱で一途な、いつもなにかを希求している少年の物語」という作者の言葉が示すように、野球をとおりて原田巧という一人の少年が成長していく過程が描かれています。小学生高学年から中学生に読んでもらいたい本ですが、思春期の子をもつ親のみなさんにもおすすめの本です。



information

お知らせと情報

各課直通電話番号

課局室名	電話番号	課局室名	電話番号
総務課	25-1112	企画調整課	25-2943
税務課	25-1113	下水道課	25-2912
住民生活課(住民生活安全)	25-1114 25-2197	会計室	25-2934
行政サービスセンター	31-2237	議会事務局	25-2980
健康推進課(保健・国保)	25-1115	農業委員会事務局	25-2946
(地域福祉・高齢者福祉・介護保険)	25-3910	西郷村土地改良区	25-1116
包括支援センター・在宅介護支援センター	25-5121	学校教育課	25-2370
商工観光課	25-2910	学校給食センター	25-1256
農政課	25-1116	生涯学習課	25-2371
建設課	25-1117 25-1118	水道事業所	25-2962
		代 表	25-1111

●歯科医 休日当番日

8. 6	九番町歯科クリニック	(白河市)	☎ 27-3711
8.13	サンデンタルクリニック	(白河市)	☎ 24-8020
8.14	青村歯科医院	(白河市)	☎ 24-0671
8.15	赤沼歯科医院	(泉崎村)	☎ 53-2004
8.20	和田歯科医院	(矢吹町)	☎ 44-4180
8.27	大栄歯科クリニック	(白河市)	☎ 22-2833

●小児科医 休日当番日(白河地区)

8. 6	わたなべ子どもクリニック	(白河市)	☎ 21-2166
8.13	おかざきクリニック	(白河市)	☎ 23-2551
8.20	岡崎小児科内科医院	(白河市)	☎ 23-7811
8.27	関 医 院	(白河市)	☎ 23-3003

●内科医 休日当番日(白河地区)

8. 6	大高整形外科	(白河市)	☎ 23-9988
8.13	かねこクリニック	(西郷村)	☎ 24-3111
8.20	片倉クリニック	(白河市)	☎ 27-2770
8.27	かねこクリニック	(西郷村)	☎ 24-3111

※電話案内 しらかわ救急情報センター ☎ 23-9909

(看護師が電話にて当番医の紹介や当番医以外の専門医等の紹介や場所の案内をします。)

●今月の納税

村 県 民 税 (2 期)

国民健康保険税 (2 期)

介護保険料 (2 期)

8月31日(木)までにお納めください。

※納税は便利な口座振替で

お知らせ

恩給欠格者、引揚者の皆様へ

独立行政法人平和祈念事業特別基金では、次の方々に内閣総理大臣名の書状等を贈呈しています。

- 旧軍人等で恩給等を受けていない恩給欠格者の方
- 終戦に伴い本邦以外の地域から引き揚げてこられた方
- 請求書類は、健康推進課の窓口にて

おいてあります。
資格要件など詳しい内容については、左記まで問合せ下さい。

■問合せ

独立行政法人平和祈念事業特別基金

☎ 0120-234-933

(フリーダイヤル)

☎ http://www.heiwa.go.jp

し尿収集の夏季休日について

し尿収集業者の夏季休日が次のとおりとなりますので、早めに業者へ申込みください。

相 談

子ども人権なんでも相談所

子どもをめぐる人権問題がクロー

- 休日期間 8月13日(日)～8月17日(木)
- 収集申込期限 8月1日(火)まで
- ※期限までに申し込まれた場合は、夏季休日までには収集します。

■問合せ

西白河地方衛生処理一部事務組合

☎ 28-3558

- 会場 白河市中心公民館(天神町)
- 問合せ 住民生活課(住民係)

白河司法書士総合相談センター オープン

クレジット・サラ金等の借金返済問題、金額の少ない法律紛争(裁判)、相続・遺言問題、成年後見制度、不動産の売買や贈与(名義変更)などの法律相談に応じます。

なお、相談は事前に電話予約を受け、会場にて相談に応じます。緊急を要するものについては、最寄の相談員を紹介します。秘密は厳守します。(相談料無料)

●開催日時

初回は8月27日(日) 13時～16時
※9月以降は毎月第一木曜日 17時～20時

●場所 マイタウン白河(2階)

白河市本町2番地

●予約電話 23-1785

(月曜日～金曜日・祝祭日を除く)

10時～12時30分

13時30分～15時30分

■問合せ

白河司法書士総合相談センター

☎ 21-2882

FAX 21-2883

募 集

第11回あぶくま水の郷 スポーツ大会

この大会は第50回国民体育大会「ふくしま団体」の開催を記念し、本村のスポーツの振興と施設の有効利用を図り、併せてアマチュアスポーツ精神の高揚とレベルアップを図るため開催されるものです。
※日時・開催種目・参加申込等の詳しい内容については問合せください。

■問合せ

生涯学習課(体育振興係)

第35回村民登山大会

●日時 9月23日(土)

※自然災害時を除いて雨天時決行

●場所 安達太良山(予定)

●参加費 2,000円

(中学生以下は1,000円)

※中止した場合を除き返却はしません。

●参加資格 小学3年生以上(小学生は保護者同伴)

西郷村民又は西郷村に職を有する方で体力に自信のある方。70歳以上の方はご相談させていただきます。通院中の方

及び心臓疾患等の方はご遠慮下さい。

●申込み 8月18日(金)から9月8日(金)まで

参加費を添えて、文化センターまでお申込みください。

(先着50名 ※土日は受付しません。)

■問合せ

生涯学習課(体育振興係)

トライアスロン教室《水泳編》

福島県トライアスロン協会指導員のみなさんに、「トライアスロンてどんな競技」のお話と、実際の水泳指導・トレーニング方法などを教えていただきます。オリンピックの競技でもある、あのすさまじい複合耐久競技「トライアスロン」に触れてみませんか。

●日時 8月12日(土) 9時～12時

●場所 西郷村民プール

●講師 福島県トライアスロン協会

●対象 小学1年生以上

●参加費

1人 300円(保険代を含む)

●持ち物 運動靴、水着、水泳キップ、ゴーグル、タオル

※申込み用紙に必要事項を記入の上、左記までお申込みください。

●問合せ・申込み先

生涯学習課(体育振興係)

料理コンクール作品募集

朝食の大切さを知り、正しい食習慣を身に付け自らの健康管理を行い、和食を見直し生活習慣病を予防することを目的に実施されるものです。

●応募方法 応募用紙に必要事項を記入し、料理の写真を同封して事務局へ送付して下さい。

※詳しい内容については問合せください。

●受付期間

9月4日(月)～10月10日(火)

●応募資格

西郷村に居住する成人

(親子での応募も歓迎します。ただし、児童・生徒のみの参加は不可) 応募は1人(1組)1点とします。

■問合せ・応募書類送付先

〒961-8061

西郷村大字小田倉字上川向76-1

西郷村保健福祉センター内

料理コンクール担当

☎ 25-1115

FAX 25-1049

✉ kenkou@vill.nishigo.fukushima.jp



うつくしま景観サポーター募集

県では、地域の特性を活かした景観づくりを進めるため、景観づくりに関する知識を学びながら身近な景観についての提言や、実践活動を行うボランティア「うつくしま景観サポーター」を募集しています。

地域の景観づくりにあなたも参加してみませんか。皆さんの応募をお待ちしています。

●**応募対象** 県内にお住まいの、満20歳以上の方

●**募集人数** 募集人数の制限はありません。

●**申し込み方法** 所定の申込書に必要事項を記入し、郵便、ファックス又は電子メールにより提出してください。申込書はホームページからダウンロードできます。

●募集期間

9月15日(金) 当日消印有効

■問合せ・申込先

県庁環境評価景観グループ

☎ 024-521-7250

FAX 024-521-7928

✉ hyouka@pref.fukushima.jp

🌐 <http://www.pref.fukushima.jp/keikan/utukushimanokeikan.htm>

試験

平成18年度自衛官(学生)

募集種目	採用予定数 () = 女子外数	受付期間	1次試験			受験資格 (平成18年4月1日現在)
			月日	時間	場所	
一般曹候補学生	陸 400 (35) 海 180 (10) 空 200 (20)	8/1 (火) ~ 9/8 (金)	9/16 (土)	PM	サンフレッシュ白河 他6ヶ所	18歳以上 24歳未満 学歴不問
曹候補士	陸 3500 (120) 海 960 (65) 空 800 (90)			AM		
2等陸・海・空士	男子 全国 7940 東北 975 福島 200		9/18 (月)		サンフレッシュ白河 他6ヶ所	18歳以上 27歳未満 学歴不問
	女子 全国 730 東北 90 福島 20		9/24 (日)		福島市民会館 郡山市労働福祉会館	
航空学生	海 70 (若干名) 空 70 (若干名)		9/23 (土)		日大工学部	18歳以上 21歳未満 高卒以上 (見込含)

■問合せ：福島地方連絡部白河募集事務所

☎ 24-0372

平成18年度海上保安大学校

●受験資格

昭和61年4月2日以

降に生まれた者で次に掲げるもの

(1) 高等学校を卒業した者及び平成19年3月までに高等学校を卒業見込の者

(2) 中等教育学校を卒業した者及び平成19年3月までに中等教育学校を卒業する見込みの者

(3) 高等専門学校第3学年の課程を修了した者及び平成19年3月までに高等専門学校の第3学年の課程を修了する見込みの者

(4) 高等学校卒業程度認定試験(廃止前の大学入学資格検定を含む。)に合格した者等人事院が(1)、(2)に掲げる者と同等の資格があると認める者

●採用予定数 約45名

●申込受付期間

・ 郵送 8月24日(木) ~ 9月5日(火)
(消印有効)

・ インターネット

8月24日(木) 9時 ~ 8月30日(水) 17時

●第一次試験 10月28日(土)・29日(日)

●試験会場

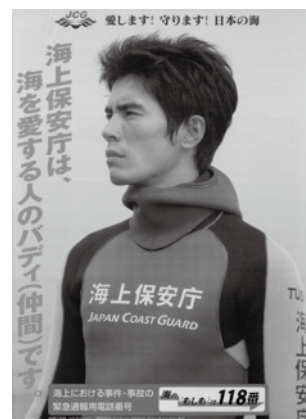
塩釜市・水戸市・新潟市

※詳しい内容、応募方法については問合せください。

■問合せ

第二管区海上保安本部総務部人事課

☎ 022-363-0111
🌐 <http://www.kaiho.mlit.go.jp/02kanku/>



●**善意**
ありがとうございました。

◎西郷村に寄付された方々をご紹介します。

▼菊池光典さん 【折口原】

(6月19日、故菊池千代子氏の遺志による西郷村村政振興事業のために) 一〇〇、〇〇〇円

▼グランディ那須白河ゴルフクラブ

総支配人 山本芳史氏

(7月13日、リゾートトラストレディースゴルフ開催記念ボランティアコンペチャリティー金をスポーツ振興のために) 八九、二四三円

行事

2006年8月
August

カレンダー

●今月の顔

少年少女バレーボール教室

に来ていた子どもたちです。

日	月	火	水	木	金	土
		1 少年少女バレーボール教室 (19:00 村民体育館) 少年リーダー養成研修 (~4日 国立中央青少年の家)	2 すいか割会 (10:00 みずほ保育園園庭) 第25回の一又・太陽の国花火・盆踊り大会 (19:00 太陽の国)	3 お泊まり保育 (~4日 14:30 那須甲子少年自然の家)	4 1歳6ヶ月児健康診査 (13:00 保健福祉センター) 国道289号甲子トンネル貫通式 (9:20 甲子トンネル)	5 甲子の里フェスティバル (10:00 甲子の里希望の家前庭) 西郷ミニバスケットフェスティバル (9:30 村民体育館)
6 第24回村民水泳大会 (8:30 村民プール) さわやか直売所 (9:30 折口原農協精米所前)	7 トライアスロン教室 (9:00 村民プール)	8 シルバー人材センターボランティア清掃 (8:00 新白河駅高原口広場)	9 原中・上野原・やまぶき荘盆踊り大会 (19:00 やまぶき荘前庭) 交通安全目の覚める運動 (10:00 国道4号白河検問所)	10 おひざにだっこのお話会 (10:30 文化センター) 心配ごと相談会 (13:00 高齢者生活支援センター)	11 ふるさと探検隊 (7:00 阿武隈川源流)	
13 さわやか直売所 (9:30 折口原農協精米所前) 中学生海外派遣出発式 (10:30 文化センター)	14 母子手帳交付日・健康相談 (13:00 保健福祉センター)					19 ふるさと講座 (10:00 視聴覚教室及び関根遺跡発掘現場)
20 さわやか直売所 (9:30 折口原農協精米所前)		22 6~7ヶ月児健康相談 (9:30 保健福祉センター) 赤ちゃんの子育て講座 (13:30 保健福祉センター) 献血 (13:00 ジャスコ白河西郷店)		24 3歳児健康診査 (13:00 保健福祉センター)	25 心配ごとと特別相談会 (13:10 高齢者生活支援センター) 農業委員会8月総会 (13:30 役場庁舎前プレハブ会議室)	
27 さわやか直売所 (9:30 折口原農協精米所前)	28 母子手帳交付日・健康相談 (13:00 保健福祉センター)		30 歯科クリニック (幼児 13:00、6歳児 13:45 保健福祉センター)			

★県南地域の主な行事です (NPO 法人カルチャーネットワーク提供)

- ・ 8/5 白河関まつり歩行者天国 (天神町~中町~本町 12:00 ~ 18:00)
- ・ 8/6 出逢い&ふれあいの会 (グランディ那須白河ゴルフクラブ 14:00 受付開始)
- ・ 8/8 白河関まつり花火大会 (北中川地内河川敷 19:40)
- ・ 8/13 ルネサンス棚倉花火大会 (ルネサンス棚倉 19:00)
- ・ 8/14 棚倉夏祭り (棚倉町内旧国道 15:00)
- ・ 8/15 鮫川花火大会 (巡ヶ作地内 19:00)
- ・ 8/16 浅川町花火大会 (浅川町町民グラウンド 19:00)
- ・ 8/18 しらかわ盆踊り大会 (白河駅前 17:00)
- ・ 8/19 釈迦堂川全国花火大会 (須賀川駅前河川敷 19:00)
- ・ 8/26 表郷ふるさと夏まつり (表郷天狗山球場 11:00)

誌上天然色作品展

（村内の小・中学校の児童や生徒のみなさんの作品を紹介しています。）

美術

「蛾と自分」



川谷中学校二年
松田翔子



美術科の佐久間先生から一言

鉛筆の濃淡を生かして細かい所まで描き込み、質感が表現できました。自己の内面にある感情や思いが伝わってくる作品です。

詩

「涙をこえた先に」



川谷中学校三年
山下美沙紀

今日がどんなにつらくても
この先には
「明日」という未来がくる。

この「さよなら」が
今はどんなにつらくても
この先には
きつとまた新たな出会いがある。

日々、同じく流れる時間を
私は生きている。

今日涙を流しても
それで見えてくる何かがあるかもしれない

私は涙の先にある可能性
「明日」を信じて未来へ進もう。

国語科の泉川先生から一言

不安や挫折感を感じることもあるでしょう。ですが、未来に向かってまっすぐ歩いていこうという気持ちが伝わってきます。

書

「詩情」



川谷中学校二年
児山明美



国語科の泉川先生から一言

二年生になって初めて取り組んだ作品です。難しい課題でしたが、字形のバランスも良く、のびやかで丁寧に仕上がりました。